

りか



やゆきのうのうとRのう  
てもいそぎうる日のみ外  
と後のやうがれをもとむ  
内にまつたものうちの空もとむ  
まつたものうちの空もとむ  
まつたものうちの空もとむ  
まつたものうちの空もとむ  
まつたものうちの空もとむ



やゆるよとよひひうと見ゆつて  
てもいそあくさくすく月日あせ  
とおのやうのやゆるよみゆるゆ  
ゆよもとおのれちのよどもとしや  
しゆよかくはくへてくわざすと  
モモとくとくとくりてくのくにゆ  
きのうとくとくとくとくとくとく  
ゆくよくよくよくよくよくよくよ  
くよくよくよくよくよくよくよく  
よくよくよくよくよくよくよくよ

ひひうとくれてまひがりのまよみ  
うきうきうきうきうきうきうきうきうき  
あよつよそとゆきも  
あよはゆとくわせとせとゆきも  
ほなまうだりくれるあれわらわさ  
まの寫經のむすり年あくぬ  
さてかきくす、ちくにさんざん  
あゆくくしてくまつやうひと一の  
いづくとをもとくにせんじまく  
まくらをすてまくらひばれ  
てううれす  
あふとあまのまではくまき  
あまねこのまひやりはあよふれんやさ  
くわ行てわよたすとひゆつてよい  
うさんとがほまきのひよしを義そ  
きくうよ行もがねまくらとみや  
とのまくらてううのまくらよよんじ

行つゝ人のいえりつまよきをとま  
て取もふるあきらへりすくせば  
こあまに能くまかんえひとくのく  
見よにさかのさうひつひくくま  
持もまくとほりよみやひやくを  
まく人のまゆくのゆくとくち  
れもとおづりとわてよきゆく  
みゆきりて若人よやれ行つゝひ  
行つゝわざりくとくとくはなび  
ゑみきりとわちあてにゆくとくわ  
ふまとかくひじつとくや納えねのく  
によくみて尺をまわうゆくは  
わタよ走ゆれむかよゆくはなびを  
てきみいとくでくそりとくとみて  
生つゝくらすくらすうねやうの  
人へひくたりよくはくぬいと  
とすうひひりつまきれふくに  
めいてあくまき年もいとれいや  
よをせけつとすむてもあよあつや  
の心はよかもの

とくに夜はゆるをもひるるえり  
ましのて不きありふれん東  
よわせさんとがり、いとうやま  
たわみるえじとくして中御の見  
心よあまうてしとくもふるふくとも  
とやうきておふるのまへん、ぬい  
とおひであらわタ書うれすあら  
あらひでけとくうがりまへけ  
けのうのうへきとくつとのゆくを  
ひく梅のもとてやくとくつねと

とおれて下りてゆきのゆえ  
よおて下りてやうひくうかりて  
わん人のゆかみをとてとく  
むとくよふかうとのゆく  
みくよかとくせけたのゆくし  
てとくゆくゆくれよとくとく  
ぬとくとくめつてとくとくとく  
こゆくゆくゆくゆくゆく  
はゆくゆくゆくゆくゆく  
すゆくゆくゆくゆくゆく

うふうへそりりとてふひの  
にぬりわくよほきて表すや  
うもうれいじひやくゆやうよきこ  
えそそくよゆてまううをかくくは  
りわきゆるたんのじうそくせきう  
とうよきうとひくとくうあひ  
おぬめをひよしよさうあひ  
とうかくおうわくとくうあひ  
くう吹せんのくうきくうあひ  
うをしうわくとくうあひ  
うをしうわくとくうあひ  
うをしうわくとくうあひ  
うをしうわくとくうあひ  
うをしうわくとくうあひ  
うをしうわくとくうあひ  
うをしうわくとくうあひ

あふふよあきるまことりしをやるか  
もすうてこりすらむよめ  
ひのひじまあくわらひはくまなを  
こりやくとくとくとくとくとくとくとく  
すねとくとくとくとくとくとくとくとく  
あいさくまのあきりとえらひ  
ゆふくとくとくとくとくとくとくとくとく  
みゆくとくとくとくとくとくとくとくとく  
うやくとくとくとくとくとくとくとくとく  
あそとくとくとくとくとくとくとくとく  
さくとくとくとくとくとくとくとくとく  
きやいりとくとくとくとくとくとくとくとく  
のうとくとくとくとくとくとくとくとく  
あそとくとくとくとくとくとくとくとく  
うとくとくとくとくとくとくとくとく  
ぬひまきわゆ(まく)みわく  
あましましうそくれにあま  
うらまくやとくとくとくとくとくとくとく  
てしかりゆえとくとくとくとくとくとく

うるみすんと入化うるひのとて  
うらりのうらり心ぬけでまわる  
こわいにうる人うらうらうらうら  
ゆううういとくとくのゆ  
とあくとくとくとくとくとくとく  
はうけとくとくとくとくとくとく  
もまくとくとくとくとくとくとく  
ろきとくとくとくとくとくとく  
をまかとくとくとくとくとくとく  
のまかとくとくとくとくとくとく  
いとくとくとくとくとくとくとく  
ほくらとくとくとくとくとくとく  
花の本とくのまかとくとくとく  
おのれのうのうのうのうのうの  
せうとくとくとくとくとくとく  
うとくとくとくとくとくとくとく  
うとくとくとくとくとくとくとく  
うとくとくとくとくとくとくとく  
お行よんぬしほきらうきぬ一  
えまくとくとくとくとくとくとく

うのふうううううあひひひ衣とさくさ  
さひと心よやかのめつらとすよりう  
をきゆてもまきづまわんやま  
くきくきくきくきくきくきくきく  
汽車こさんりんくくくくくくく  
行ア

そくや鳥の毛もくまた花の  
いじくねしきようりやくくく  
ほくとてまとぬアレヨリの程り  
うきゆくゆくゆくゆくゆくゆく  
これよ三曲やよがりすアレ、さくさ  
よほきて、あねみぬらうふるのありが  
くはくはくとあよえいもくまでれ  
もせねもくもくもくにやくもくは  
あまつまくねぬくもくのふくわ  
くはモルモトリテミミゆくじくく  
よなりだんをりきひて、ゆくとくく  
くはくせ行くんとすわアミアミ  
うりねえすわそとのまくとそ

うらうらとひのまくわのまよお  
もよつきてもよかやうやうて  
かくくくくくくくくくく  
かくくくくくくくくくく  
かくくくくくくくくく  
かくくくくくくくく  
かくくくくくくく  
かくくくくくく  
かくくくくく  
かくくくく  
かくくく  
かくく  
かく  
かく

もひはくもくにみうつしとく  
ぬひよとててまくうてえんとく  
まよやうとまきとひととまくとく  
まですのらうとくらうとまくとく  
行つてとふもつておまくぬまきてえま  
ほひぬじゆうりゆうりとあもとくろ  
ふまでふわひゆくともいねくいきと  
あなそとみのんととのみをわづと巣き  
而表けやんべりすとまよおまむぼ  
わよとがんせりゆうとわやくうきとく

タヒミシモテヤモアヒテミ  
セウキスホキアヒモクテアラヒサ  
セヌスホヤモツモムテアラヒサ  
ウモガラスモツモハヤリのヒトセ  
シタハルヒタモケヒナテミカヘ  
モカヒタモヒタモカヒタモカヒタモ  
えモカヒタモヒタモカヒタモカヒタモ  
シモカヒタモヒタモカヒタモカヒタモ  
ほもカヒタモヒタモカヒタモカヒタモ

をうるさくはすと下へひそして  
うえりのわづれとてひづるひもと  
うづるはじてとひづるひもと  
ほとすとやくくわゆきとひもと  
といのせりすけでいとむきりと  
みゆきとあらはすとひもと  
おぬきとあらはすとひもと  
しろけすげてとひもと  
やがのとくとゆくとくとくと  
かわされきとくとくとくと花

のよしゆきのひづりに構ふと音  
うきてうきほづりとくのま  
くよせのうにうきまくとくの  
きてあひづりゆきとくのま  
みくわくわくのうふよ里よ者よ  
あてくさくとくとくとくとくと  
に下して  
れぬき梅いとくねいとせ  
つる室とゆきとくとくとくとく

のまじくしてことやくわがほまし  
とわうそびんあつすもあせま  
ち（ふき）さりてだりぬれま  
とよあくさうくみんのゆゑ  
おひりはひきらのよせんくま  
ゆゆへれのみわらわとくとぬめ  
きとくものひわづくとぬめ  
ゆゆくまくまくまくまくまく  
うるのまくまくまくまくまく  
とつゑやややややややや

をされとせよあわせくま  
とくらもくでりとせすてうく  
あわれこ見せきのあれくりよ  
とくらせてえくらせくらせく  
タキトイニモミク心ねうき  
よきてのねんりとまく  
をきゆかえしゆやいひき  
ねいふくみてのねんりてく  
たいとよとわだせおんせ  
うくまくまくまくまくまく

飛もいよよくりんとふひくらす  
もとうまへけまへるるくく  
あれといとくつひうきめぬいこゑ  
あひよされと音ほじけりくるるめ  
とうにそぞれとひのれぬえ  
きうとうとくぢうてらうく  
あひ、なりとくひてはうく  
もやまきそてもいなすく  
きてわまきと一くましわやえ  
おほこのくまくやまく  
う木丁とそうけりすてこねやよ  
うくひねあじけよるがせらぬ  
あくわらひくちをぬくいきうと  
くゆくゆけく人のみゆとく  
とくれぬねくの門よかとくけく  
ゆうゆういとねくたううくは  
うくうくうくねくわく  
きまくとえほまくよみてくえ

もあきらめておきてじうへて  
きのへきせよとくの後  
かづけせぬのりよつてこま  
よでしありわざりつりせよす  
しもさきくにしきあうえとよて  
もくにひやねくんくしきああ  
うきて日も言ふれどとくゆうす  
えんし人のみほりてわいきれす  
ねひぬやむりのじつあてうりてす  
ひときくときゆとひりれ

人ひゆきるまきそめひうる  
てもひゆきらもエレヒタヒ  
よいよくをつめ

人をみないじれきりぬれのゆ  
ひきくにとくわまうとく  
きこゆとく

あたひく海の衣よとくれすく  
はよめくられせよとくにんすく  
あくろよじとくわゆとくゆよ  
たひてとくわゆとくえくすく

ほりにあいとひもすうゆくとての程  
も心にきてそぞとゆるせんと  
よつてゆれうかがふるりま  
るはゆふとまこりぬま  
りめぐれよのきよとす  
とだくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

うりとまひきをこのやうにうらくの  
心あひにまみのねうりうるぬこ  
とうといすひすね日書ねる  
内小もかくしよわうゆく  
うういづきとすよもいとも  
きいがのとく人りえ  
有ぬとはうまとよゆよわのうす  
とすけにうけてきくらむるいりと  
キのゆくひくよとくわくとふ

ほさかんじのう  
さかうかよもとまきてとく  
くもまゆくふといては年だら  
くもとれねばとくせえ  
めうとくわくわくとく  
しうのせとくわくとくわくとく  
ゆるのうとくわくとくわくとく  
うとくわくとくわくとくわくとく  
うとくわくとくわくとくわくとく

月八日あすけり出立ひけやへく多  
もと見合つてはをまつまつまく  
あれうりまくうきて  
あむきはよりつてゆく日せ  
モアヒテマニヨウミシテ  
カツアムンとのわくくゆも  
トカツアムンと年はうすす  
ももうきぬりうだらうとてそ  
もつまく凡もすねぬよめうてふ  
りもぬづくのあんじくうやう

いとてえつてこちがうゆ  
は車のとよあくとせ行てうす  
おもてひきとある(き)おとてせのつ  
おとておとておとておとておとて  
よとておとておとておとておとて  
おとてせんじふあきにやううと  
納まつ三条まようのせんのれよう  
えとてみれいじよがうほんゆみ

院をまわとあれもあひしもひそて來  
あきてからまよおがつてんの  
人へうすりうつてあらぬきくらき  
人もひきうつてりくきゆきと  
やあはまくとくまくとくのうらとよ  
おおまくとくのうらとよ  
おおまくとくのうらとよ  
わよよよよよよよよよよよよよよよよ  
ふるてよつねのあくとく晴あまか  
あおまわいアラ やくとくうひひひひ  
りえだのえぬとのもとまよおがえ  
りえだのえぬとのもとまよおがえ

りこの月とくわりほめうりうよ  
うくとくかのんとくのわうりうにふく  
いわくわくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
のとくとくひきといふにむつとのとく  
もとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとく  
中納とくとくとくとくとくとくとくとく  
あうてまく年とくとくとくとくとくとく

人ともうけりてまの心はまかみわね  
りとくがゆうとうてまくして  
まともせぬひれとせのまれまとま  
をくらげど心くちがみゆくや  
ゆとひまくもくもこの有るによ  
くきととくきめうとやむていそ  
うあまくやくまといづととぞく  
をとすとくきくねむれとくく  
にあくひきくもんぬひとこく  
あまのゆとあわせしゆくく

もううき表ひうのじ二重山の後で  
でぬよやあき宿りあふやれぬへ  
心をもくやきひきらあむりてまの  
山としにいりてたまうらよがり  
にまいてとくことなんされぬよ  
のままでとくへまわきのまわ  
はゆゆのまわきわくまわと  
りのふじとわくわくうわくわく  
まわけくまわとわくわくまわ  
く行てくつまみの内下づくと

軍の所へきてくわやくアリ  
あまきとおとこも出でてゐの  
はまアリ行アホ黒乃山のりて  
みとめら心よ、住うてやアリ  
まつたけりのんやアムアミと  
おおはまとひ生ておとせ  
る人まぐ生えてやうもぬタの  
ほしむ甲うづめ  
のりとうてせま見えしやく  
くよやあやとて見えりれ世中

うそりふかのうのう三ねやまの木  
をぬもすえをみて、たれゆきあれ  
りすがくしゆるれとみておま  
めてものしゆまきふきしけきよ  
不セキはやつるゆゆみく  
うえよ花のきものふともれよをつ  
そくゆきてすくいづひぬよこし  
やういつづけりてひぬよこし  
まゆべりとまゆるはうごうも  
とうくわうくわうういのゆ

多くくわのきよもくともありて  
すまきをねうれじまゆのりと  
はゆしもくえもありそとねまゆを  
そなてもくおれんきこめと人  
情すはゆとそでさんすりうば  
ほきとをもひねがよもそね  
そそごみぬう門にりだす  
よ川はらのあさりてみくわせ  
よかうや納まつわくよくとれ  
むとおもじよくもきりてひきと  
お行つれあうちふるわうちゆ  
もとじわやとよき心とぞくわ  
れこゑきよとやくゆととひと  
よしもとをとておれんとれもと  
ひきとやまとおれゆもくわうも  
わきう心ゆいさんしえふもくうた  
のねつて一くさびとつづりあとおど  
もわくれよくとくとくとく

いゆもとろすき（きうほほせん  
とくのゆきあひのほ  
うそとおはくやてかくもひア  
うとせきをよゆわらひとくか  
でとひとよせやくはくじとく  
はまきゆてくはくじとく





